

浜の活力再生広域プラン
令和8～12年度
第3期

1 広域水産業再生委員会

組織名	気仙広域水産業再生委員会
代表者名	会長 船砥 秀市（越喜来漁業協同組合 代表理事組合長）

広域委員会の構成員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広田湾漁協地域水産業再生委員会（広田湾漁業協同組合、陸前高田市） ・ 大船渡市地域水産業再生委員会（大船渡市漁業協同組合、綾里漁業協同組合、越喜来漁業協同組合、吉浜漁業協同組合、盛川漁業協同組合、岩手県漁業協同組合連合会、大船渡市、岩手県）
オブザーバー	岩手県沿岸漁船漁業組合

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>1 対象となる地域の範囲 岩手県大船渡市（大船渡市、綾里、越喜来、吉浜、盛川の各漁業協同組合管内）及び陸前高田市（広田湾漁業協同組合管内）</p> <p>2 漁業の種類</p> <p>(1) 養殖業 ホタテガイ養殖（120人）、カキ類養殖（122人）、ホヤ養殖（102人）、エゾイシカゲガイ養殖（15人）、イガイ養殖（2人）、ワカメ養殖（241人）、コンブ養殖（53人）、サーモン養殖（1経営体）</p> <p>(2) 漁船漁業 定置漁業（25ヶ統）、さんま棒受網漁業（7人）、いか釣り漁業（15人）、船びき網漁業（49人）、かご漁業（672人）、刺し網漁業（100人）、火光利用敷網漁業（43人）、磯建網漁業（48人）</p> <p>(3) 採介藻漁業（3,411人）</p>
	

－内訳－

種類	項目	計	陸前高田市	大船渡市				
			広田湾漁業協同組合	大船渡市漁業協同組合	綾里漁業協同組合	越喜来漁業協同組合	吉浜漁業協同組合	盛川漁業協同組合
養殖漁業計		656	136	231	124	100	65	-
	ホタテガイ	120	18	45	17	20	20	
	カキ	122	41	74	1	6	0	
	ホヤ	102	14	20	41	25	2	
	エゾイシカゲガイ	15	15	0	0	0	0	
	イガイ	2	0	0	2	0	0	
	ワカメ	241	40	53	56	49	43	
	コンブ	53	7	39	7	0	0	
	サーモン	1	1	0	0	0	0	
漁船漁業計		934	328	280	174	92	60	-
	さんま棒受網	7	1	4	2	0	0	
	いか釣り	15	1	6	6	1	1	
	船びき網	49	16	11	16	4	2	
	かご	672	273	205	94	59	41	
	刺し網	100	17	20	35	17	11	
	火光利用敷網	43	9	20	7	4	3	
	磯建網	48	11	14	14	7	2	
採介藻漁業計		3,411	900	670	394	267	1,180	-
	ウニ	1,099	320	286	168	89	236	
	アワビ	1,165	352	267	195	115	236	
	フノリ	425	172	0	7	10	236	
	ナマコ	484	56	115	24	53	236	
	その他(マツモ)	238	0	2	0	0	236	
組合員数(人)		3,363	1,043	1,225	295	439	236	125
うち海面		3,238	1,043	1,225	295	439	236	0

(令和7年10月31日現在)

2 地域の現状

(1) 地域の水産業を取り巻く現状等

【気仙地域の漁業の概要】

気仙地域は、岩手県沿岸南部に位置しており、リアス海岸の特徴を活かし、広田湾、大船渡湾等の湾内及び浅海域では、ホタテガイ、カキ、ワカメなどの養殖業、アワビ、ウニなどの採介藻漁業が、近海域では、定置漁業やかご・刺し網などの沿岸漁船漁業が営まれている。

また、沖合は世界有数の好漁場である三陸漁場であり、さんま棒受網漁業、いか釣り漁業、船びき網漁業などが営まれている。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波(以下「震災」という。)により、養殖施設、漁港施設、冷蔵庫、魚市場などの水産関連施設が壊滅、漁船の9割が滅失するなど水産業全般が大きな被害を受けたが、国や民間団体・企業等の支援により、これら施設等は復旧し、地域水産業の基盤は整った。

陸前高田市では、安全・安心な食の提供と水産物の高付加価値化や経営基盤強化の推進、省人・省力化機械導入による生産性の向上、資源管理型漁業の推進などを水産振興の基本施策とした「陸前高田市まちづくり総合計画 後期基本計画(令和6～10年度)」を、大船渡市では、長期的な視点に立ち、水産のまち大船渡として取り組むべき施策の実現に向けた「大船渡市水産業振興計画(令和8～12年度)」を、それぞれ策定し、取組を進めることとしている。

広田湾漁業協同組合では令和5年12月から、越喜来漁業協同組合では令和7年11月からサーモンの試験養殖を開始し、広田湾漁業協同組合では令和7年10月に区画漁業権を取得している。

令和7年2月に発生した大規模林野火災により大船渡市漁業協同組合及び綾里漁業協同組合管内で漁具、漁具保管庫、器具機材等に被害が発生した。

越喜来漁業協同組合及び広田湾漁業協同組合は、令和6年12月にがんばる漁業復興計画、盛川漁業協同組合は、令和7年3月にがんばる養殖復興計画の認定を受け、計画に基づく取組を展開している。また、吉浜漁業協同組合は、令和8年1月のがんばる漁業復興計画認定を目指し取組を進めている。

漁業人材の確保、育成に向け、「いわて水産アカデミー」（平成31年4月開講）や両市漁業就業者育成協議会等と連携して取り組んでいる。

【気仙地域の漁業の課題】

令和7年2月の大規模林野火災から早期の復旧を果たすことが求められている。

また、海洋環境の変化などによる水産資源の減少、特に気仙地域の主力魚種であるサケやサンマ等の水揚量の記録的な不振に加え、磯焼けによるアワビ・ウニの成長不良、貝毒によるホタテガイ等の出荷規制の長期化、夏季海水温の上昇によると思われる養殖貝類のへい死、秋季海水温の降温の遅れによるワカメ養殖開始時期の遅れなど深刻化する生産力の低下への対応が求められている。

一方で、マイワシ資源や暖水性魚種の増加、クロマグロ資源管理、燃油を含む経費の増加、ALPS処理水の海洋放出開始、急潮被害などこれまで経験のない変化への対応が求められている。

加えて、以前から続く漁業者の高齢化や後継者不足など、漁業就業者の減少に歯止めをかけるため、新規就業者の確保と育成を図る必要がある。

【気仙地域の水産加工流通業の概要】

当地域は、定置漁業、沿岸漁船漁業や沖合漁船漁業によって大船渡市魚市場に水揚げされる豊富な魚介類を活かして、加工流通業が発展してきた歴史があり、全国に先駆け、魚市場を中心とした生産から加工流通に至るまで一貫した高度衛生品質管理の体制が構築されている。また、魚市場へのICTも全国に先駆けて導入されるなど、スマート水産業先進地として全国的にも注目されている。

【気仙地域の水産加工流通業の課題】

これまでに経験したことがない主要魚種の長期不漁による原魚不足、水揚げされる魚種組成変化への対応等が求められている。

【産地力向上協議会の概要】

当委員会、大船渡湾冷凍水産加工業協同組合、大船渡市、陸前高田市及び岩手県は、生産者・団体、加工流通業者・団体及び行政機関が一堂に会する「産地力向上協議会」（令和5年度設置）において、情報交換や共通する課題の共有等に取り組んでいる。

今後、見込まれる産地間競争の激化の中で、気仙地域の存在感を維持強化するため、産地力向上協議会との連携により、

- ① 産地の今を伝える情報発信など、販売戦略の強化
- ② 今獲れている前浜資源の利活用促進など、付加価値の向上
- ③ 定置漁業の経営強化、既存養殖業の維持、新たな養殖の産地化など、生産力の向上
- ④ 水産業関係者が連携した魚市場への水揚げ増強

等の機能強化を通じ、当地域水産業全体の体質強化を図る必要がある。

(2) その他の関連する現状等

令和7年10月1日現在の当地域人口は52,990人で、5年前からの減少率は10.5%となっており、県全体の減少率6.9%と比べ、減少割合が高い状況にある。

令和3年12月18日、青森県八戸市から宮城県仙台市を結ぶ三陸沿岸道路が全線開通した。また、新型コロナ禍後の大船渡市のポートセールスにより大船渡港へのクルーズ船の寄港が回復傾向にあることから、輸送時間の短縮による仙台圏、首都圏への販路の拡大や、交流人口の増大が期待される。

3 競争力強化の取組方針

(1) 機能再編・地域活性化に関する基本方針

① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）



② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

当地域では、魚市場が統合済み、また、震災を機に荷捌き施設等も統合・整理されたことから、これら施設の統合等の機能再編予定はないが、令和7年2月の大規模林野火災により被災した施設等の早期復旧を進めるとともに、既存施設等の機能分担を基本として①販売戦略、②付加価値の向上、③生産力の向上、④漁港施設の機能強化等に取り組むことにより、更なる競争力強化を図り、水産業の振興を核とした当地域全体の活性化を図るものとする。

1 販売戦略に係る機能強化

産地の今を伝える情報発信の強化に向け、令和7年度に整備した体制を活かし、産地力向上協議会を構成する団体・機関の連携により発信する情報の量を増やすとともに、話題性のある情報づくりを進め、当地域の魅力を高める。

2 付加価値の向上に係る機能強化

(1) 衛生品質管理等の付加価値化

大船渡市魚市場を中心に、生産から加工流通に至るまで一貫した、世界標準の高度な衛生品質管理の実践地域であること、更には、同市場が全国に先駆けてICTを導入するなどスマート水産業実践地域であることの価値化に向け、地域関係者が連携し情報を発信する。

(2) 未利用低利用魚の活用促進による付加価値向上

越喜来漁業協同組合、広田湾漁業協同組合及び吉浜漁業協同組合が、がんばる漁業復興計画の中で、大船渡東高等学校等との連携などにより取り組む未利用低利用魚の活用方法の検討成果を発信するとともに、道の駅での販売や地元飲食店でのメニュー化、水産加工業者による商品化の機運を醸成する。

3 生産力の向上に係る機能強化

(1) 定置漁業の水揚げ維持・安定

魚種組成や漁場環境の変化に対応した水揚げ確保に向けて、越喜来及び広田湾漁業協同組合が、が

んばる漁業復興計画の中で取り組む、細目網の導入による漁具改良や急潮速報の活用による被害防止等の実施状況を共有し、地域でこうした取組の普及を図る。

(2) 既存養殖種の安定生産

夏季海水温の上昇や秋季海水温の降温遅延など、劇的に変化する養殖環境へ対応しワカメ、カキやホタテガイなどの生産量を維持安定させるため、関係者が連携して地域全体での対策の検討・実施に取り組む。

(3) 新規養殖種の導入

既存養殖種に代わるアサリ等の新たな対象種について、先行地区での取組を踏まえ地域全体への養殖技術の普及を図る。

(4) サーモン養殖の推進

サーモン養殖の事業化・規模拡大が進展するよう、養殖生産体制の整備に取り組む。

また、管内のさけ・ますふ化場を活用した種苗生産体制の整備に取り組む。

(5) 秋サケ資源の維持

秋サケ資源の維持に向けて、各漁協はふ化場のない河川においても親魚捕獲を実施するなど、引き続き連携して種卵確保に努めるとともに、大型稚魚の適期放流等により回帰率の向上に取り組む。

全県的なサケふ化場再編の取組の推進に向けて、岩手県さけ・ます増殖広域水産業再生委員会と連携して取り組む。

4 漁港施設に係る機能強化

漁業活動の効率化を図るため、水産業競争力強化漁港機能増進事業により、物揚場背後の未舗装の用地を舗装し漁具保管・修理に係る作業環境を整備するとともに、養殖ワカメボイルに係る衛生的な作業環境を確保する。

(2) 中核的担い手の育成に関する基本方針

① 前期の浜の活力再生広域プランの評価（成果及び課題等）

② 今期の浜の活力再生広域プランの基本方針

1 新規就業者の確保

大船渡市及び陸前高田市は、育成協議会を通じた漁業就業支援フェアへの参加、知識や資格の習得に向けた研修会や講習会等の開催、住居確保等への支援を実施し、誘致から定着に至るまで一貫したサポートを行う。

また、新規就業者の地域定着に向け、就業希望者と受入希望漁業者の情報を地域全体で共有し、就業先の選択範囲を広げ、両者のより適切なマッチングを図る。

2 中核的担い手の育成

所定の要件（人的要件、年齢基準、所得基準）を満たす中核的漁業者の認定と育成を進める。

また、認定漁業者は、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業等の活用により経営基盤の強化を図り、情勢の変化に対応できる強い漁業経営体となることを目指す。

(3) 資源管理に係る取組

漁獲努力量の削減・維持の担保措置として次の項目に取り組み、遵守する。

【共通項目】

資源管理協定の遵守

【養殖漁業】

- ① 区画漁業権の管理及び行使に関する必要な事項を定めた漁業権行使規則の遵守
- ② 養殖漁場の維持・改善のため養殖施設台数や適正養殖可能数量等を定めた岩手県海区未来につながる美しい海計画の遵守
- ③ 漁協部会等における漁期対策の遵守

【漁船漁業】

- ① 岩手県漁業調整規則や制限措置・許可の条件等による操業期間、操業区域、操業時間、漁獲サイズ、漁具等規制の遵守
- ② 岩手海区漁業調整委員会指示によるさけ・ますの採捕制限、定置漁業の保護区域の設定等に基づく適正操業、共同漁業権行使規則に基づく適正行使及び規制措置の遵守

(4) 具体的な取組内容

1年目（令和8年度）

取組内容	<p>【機能再編・地域活性化の取組】</p> <p>1 販売戦略に係る機能強化 大船渡市及び陸前高田市、岩手県は、産地力向上協議会が整備した情報発信体制を活用し、情報を発信するとともに、委員会は、産地力向上協議会と連携し、話題性のある情報づくりを検討し発信する。</p> <p>2 付加価値の向上に係る機能強化</p> <p>(1) 衛生品質管理等の付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none">生産者及び生産者団体は、魚市場を中心とした地域ぐるみの高度な衛生品質管理体制が維持されるよう、定置網における漁獲物の品質保持、陸揚げ管理、乗組員の衛生管理など、生産段階での衛生品質管理を地域全体で徹底する。大船渡市及び岩手県は、魚市場を中心とした地域ぐるみの高度な衛生品質管理の取組やスマート水産業実践地域であることを発信するため、魚市場関連の情報に大船渡市魚市場HPや公式Xアドレスを付す。 <p>(2) 未利用低利用魚の活用促進による付加価値向上</p> <ul style="list-style-type: none">越喜来漁業協同組合は、大船渡東高等学校等と連携して未利用低利用魚の活用方法を検討するとともに、道の駅等での販売方法を検討する。吉浜漁業協同組合は、朝市を活用した新規魚種の市場開拓を検討する。広田湾漁業協同組合は、市内流通・販路を検討する。大船渡市、陸前高田市及び岩手県は、上記の取組を支援するとともに、その取組を発信する。委員会は、上記の取組を地域間で共有し、未利用魚等の地域全体での認知度向上策を検討する。 <p>3 生産力の向上に係る機能強化</p> <p>(1) 定置漁業の水揚維持・安定 委員会は、越喜来及び広田湾漁業協同組合等の水揚の維持・安定に向けた取組を共有し、関係漁業協同組合は、漁具改良や急潮速報の活用策等の検討を開始する。</p> <p>(2) 既存養殖種の安定生産 岩手県は、生産者及び漁業協同組合と連携し、ワカメ、カキやホタテガイの養殖試験を行うとともに、水産業普及指導員が中心となって、夏季海水温上昇など変化する養殖環境下での対策を検討する。</p> <p>(3) 新規養殖種の導入 岩手県は、生産者及び漁業協同組合と連携し、当地域に適するアサリ等の潜砂性二枚貝について検討を開始するとともに、試験養殖や販売試験を実施する。</p> <p>(4) サーモン養殖の推進 岩手県、陸前高田市及び大船渡市は、関係漁業協同組合が取り組む養殖規模拡大、試験養殖を支援する。 岩手県、陸前高田市及び大船渡市は、管内漁業協同組合が所有するさけ・ますふ化場を使用したサーモン種苗の生産について、その検討及び実行を支援する。</p> <p>(5) 秋サケ資源の維持 関係漁業協同組合は、ふ化場のない河川においても親魚捕獲を実施するなど、連携して種卵確保に努め、拠点ふ化場及び地域ふ化場の連携体制により、大型稚魚の適期放流に取り組む。</p> <p>4 漁港施設に係る機能強化 陸前高田市は、水産業競争力強化漁港機能増進事業により、根岬漁港において物揚場背後の用地舗装を実施する。</p> <p>【中核的担い手の育成の取組】</p> <p>1 新規就業者の確保</p> <p>(1) 大船渡市及び陸前高田市は、育成協議会を通じた漁業就業支援フェア参加、知識や資格の習得に向けた研修会等の開催、住居確保等へ支援する。</p> <p>(2) 関係漁業協同組合は、育成協議会と連携し、就業希望者と受入希望漁業者のマッチングを支援する。</p>
------	--

	<p>2 中核的担い手の育成</p> <p>(1) 委員会は、所定の要件（人的要件、年齢基準、所得基準）を満たす中核的漁業者の認定と育成を進める。</p> <p>(2) 認定漁業者は、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業等の活用により経営基盤の強化を図り、情勢の変化に対応できる強い漁業経営体となることを目指す。</p>
活用する支援措置等	<p>i 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国）</p> <p>ii 水産業競争力強化金融支援事業（国）</p> <p>iii 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）</p> <p>iv 水産業競争力強化漁港機能増進事業（国）</p>

2年目（令和9年度）

取組内容	<p>【機能再編・地域活性化の取組】</p> <p>1 販売戦略に係る機能強化</p> <p>大船渡市及び陸前高田市、岩手県は、産地力向上協議会が整備した情報発信体制等を検証、必要に応じて強化し発信するとともに、委員会は、産地力向上協議会と連携し、引き続き、話題性のある情報づくりを検討し発信する。</p> <p>2 付加価値の向上に係る機能強化</p> <p>(1) 衛生品質管理等の付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者及び生産者団体は、魚市場を中心とした地域ぐるみの高度な衛生品質管理体制が維持されるよう、引き続き、定置網における漁獲物の品質保持、陸揚げ管理、乗組員の衛生管理など、生産段階での衛生品質管理を地域全体で徹底する。 大船渡市及び岩手県は、魚市場を中心とした地域ぐるみの高度な衛生品質管理の取組やスマート水産業実践地域であることを発信するため、引き続き、魚市場関連の情報に大船渡市魚市場HPや公式Xアドレスを付す。 <p>(2) 未利用低利用魚の活用促進による付加価値向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 越喜来漁業協同組合は、引き続き、大船渡東高等学校等と連携して未利用・低利用魚の活用方法を検討するとともに、道の駅等での販売方法を検討・実施する。 吉浜漁業協同組合は、引き続き、朝市を活用した新規魚種の市場開拓を検討・実施する。 広田湾漁業協同組合は、引き続き、市内流通・販路を検討・実施する。 大船渡市、陸前高田市及び岩手県は、引き続き、上記の取組を支援するとともに、その取組を発信する。 委員会は、引き続き、上記の取組を地域間で共有し、未利用魚等の地域全体での認知度向上に取り組む。 <p>3 生産力の向上に係る機能強化</p> <p>(1) 定置漁業の水揚維持・安定</p> <p>委員会は、越喜来及び広田湾漁業協同組合等の水揚の維持・安定に向けた取組を共有し、関係漁業協同組合は、引き続き、漁具改良や急潮速報の活用策等を検討・実践する。</p> <p>(2) 既存養殖種の安定生産</p> <p>岩手県は、生産者及び漁業協同組合と連携し、前年度の養殖試験結果の検証を行うとともに、水産業普及指導員が中心となって、引き続き、夏季海水温上昇など変化する養殖環境下での対策を検討・実践する。</p> <p>(3) 新規養殖種の導入</p> <p>岩手県は、生産者及び漁業協同組合と連携し、引き続き、当地域に適するアサリ等の潜砂性二枚貝について検討するとともに、養殖試験や販売試験結果の検証を行う。</p> <p>(4) サーモン養殖の推進</p> <p>岩手県、陸前高田市及び大船渡市は、引き続き、関係漁業協同組合が取り組む養殖規模拡大、試験養殖を支援する。</p> <p>岩手県、陸前高田市及び大船渡市は、管内漁業協同組合が所有するさけ・ますふ化場を使用したサーモン種苗の生産について、引き続き、その検討及び実行を支援する。</p>
------	--

	<p>(5) 秋サケ資源の維持 関係漁業協同組合は、引き続き、ふ化場のない河川においても親魚捕獲を実施するなど、連携して種卵確保に努め、拠点ふ化場及び地域ふ化場の連携体制により、大型稚魚の適期放流に取り組む。</p> <p>4 漁港施設に係る機能強化 広田湾漁業協同組合は、根岬漁港の物揚場背後の舗装用地の適正な維持・管理により漁業活動の効率化に努める。</p> <p>【中核的担い手の育成の取組】</p> <p>1 新規就業者の確保 (1) 大船渡市及び陸前高田市は、引き続き、育成協議会を通じた漁業就業支援フェア参加、知識や資格の習得に向けた研修会等の開催、住居確保等へ支援する。 (2) 関係漁業協同組合は、育成協議会と連携し、引き続き、就業希望者と受入希望漁業者のマッチングを支援する。</p> <p>2 中核的担い手の育成 (1) 委員会は、引き続き、所定の要件（人的要件、年齢基準、所得基準）を満たす中核的漁業者の認定と育成を進める。 (2) 認定漁業者は、引き続き、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業等の活用により経営基盤の強化を図り、情勢の変化に対応できる強い漁業経営体となることを目指す。</p>
活用する支援措置等	i 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ii 水産業競争力強化金融支援事業（国） iii 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）

3年目（令和10年度）

取組内容	<p>【機能再編・地域活性化の取組】</p> <p>1 販売戦略に係る機能強化 大船渡市及び陸前高田市、岩手県は、引き続き、産地力向上協議会が整備した情報発信体制等を検証、必要に応じて強化し発信するとともに、 委員会は、産地力向上協議会と連携し、引き続き、話題性のある情報づくりを検討し発信する。</p> <p>2 付加価値の向上に係る機能強化</p> <p>(1) 衛生品質管理等の付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産者及び生産者団体は、魚市場を中心とした地域ぐるみの高度な衛生品質管理体制が維持されるよう、引き続き、定置網における漁獲物の品質保持、陸揚げ管理、乗組員の衛生管理など、生産段階での衛生品質管理を地域全体で徹底する。 ・ 大船渡市及び岩手県は、魚市場を中心とした地域ぐるみの高度な衛生品質管理の取組やスマート水産業実践地域であることを発信するため、引き続き、魚市場関連の情報に大船渡市魚市場HPや公式Xアドレスを付す。 <p>(2) 未利用低利用魚の活用促進による付加価値向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 越喜来漁業協同組合は、引き続き、大船渡東高等学校等と連携して未利用・低利用魚の活用方法を検討するとともに、道の駅等での販売の具体化を検討・実施する。 ・ 吉浜漁業協同組合は、引き続き、朝市を活用した新規魚種の市場開拓を検討・実施する。 ・ 広田湾漁業協同組合は、市内流通・販路の拡大を検討・実施する。 ・ 大船渡市、陸前高田市及び岩手県は、引き続き、上記の取組を支援するとともに、その取組を発信する。 ・ 委員会は、引き続き、上記の取組を地域間で共有し、未利用魚等の地域全体での認知度向上と活用に取り組む。 <p>3 生産力の向上に係る機能強化</p> <p>(1) 定置漁業の水揚維持・安定 委員会は、越喜来及び広田湾漁業協同組合等の水揚の維持・安定に向けた取組を共有し、関係漁業協同組合は、引き続き、漁具改良や急潮速報の活用策等を検討・実践する。</p>
------	---

	<p>(2) 既存養殖種の安定生産 岩手県は、生産者及び漁業協同組合と連携し、これまでの試験養殖の結果も踏まえ、水産業普及指導員が中心となって、引き続き、夏季海水温上昇など変化する養殖環境下での対策を検討・実践する。</p> <p>(3) 新規養殖種の導入 岩手県は、生産者及び漁業協同組合と連携し、養殖試験や販売試験の結果も踏まえ、引き続き、当地域に適するアサリ等の潜砂性二枚貝養殖の事業化について検討する。</p> <p>(4) サーモン養殖の推進 岩手県、陸前高田市及び大船渡市は、関係漁業協同組合が取り組む養殖規模拡大を支援する。 岩手県、陸前高田市及び大船渡市は、管内漁業協同組合が所有するさけ・ますふ化場を使用したサーモン種苗の生産について、引き続き、その検討及び実行を支援する。</p> <p>(5) 秋サケ資源の維持 関係漁業協同組合は、引き続き、ふ化場のない河川においても親魚捕獲を実施するなど、連携して種卵確保に努め、拠点ふ化場及び地域ふ化場の連携体制により、大型稚魚の適期放流に取り組む。</p> <p>4 漁港施設に係る機能強化 広田湾漁業協同組合は、引き続き、根岬漁港の物揚場背後の舗装用地の適正な維持・管理により漁業活動の効率化に努める。</p> <p>【中核的担い手の育成の取組】</p> <p>1 新規就業者の確保</p> <p>(1) 大船渡市及び陸前高田市は、引き続き、育成協議会を通じた漁業就業支援フェア参加、知識や資格の習得に向けた研修会等の開催、住居確保等へ支援する。</p> <p>(2) 関係漁業協同組合は、育成協議会と連携し、引き続き、就業希望者と受入希望漁業者のマッチングを支援する。</p> <p>2 中核的担い手の育成</p> <p>(1) 委員会は、引き続き、所定の要件（人的要件、年齢基準、所得基準）を満たす中核的漁業者の認定と育成を進める。</p> <p>(2) 認定漁業者は、引き続き、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業等の活用により経営基盤の強化を図り、情勢の変化に対応できる強い漁業経営体となることを目指す。</p>
活用する支援措置等	i 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ii 水産業競争力強化金融支援事業（国） iii 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）

4年目（令和11年度）

取組内容	<p>【機能再編・地域活性化の取組】</p> <p>1 販売戦略に係る機能強化</p> <p>大船渡市及び陸前高田市、岩手県は、引き続き、産地力向上協議会が整備した情報発信体制等を検証、必要に応じて強化し発信するとともに、</p> <p>委員会は、産地力向上協議会と連携し、引き続き、話題性のある情報づくりを検討し発信する。</p> <p>2 付加価値の向上に係る機能強化</p> <p>(1) 衛生品質管理等の付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> 生産者及び生産者団体は、魚市場を中心とした地域ぐるみの高度な衛生品質管理体制が維持されるよう、引き続き、定置網における漁獲物の品質保持、陸揚げ管理、乗組員の衛生管理など、生産段階での衛生品質管理を地域全体で徹底する。 大船渡市及び岩手県は、魚市場を中心とした地域ぐるみの高度な衛生品質管理の取組やスマート水産業実践地域であることを発信するため、引き続き、魚市場関連の情報に大船渡市魚市場HPや公式Xアドレスを付す。
------	--

	<p>(2) 未利用低利用魚の活用促進による付加価値向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 越喜来漁業協同組合は、大船渡東高等学校等と連携して取り組んだ未利用低利用魚の活用について総括し、道の駅等での販売に取り組む。 吉浜漁業協同組合は、引き続き、朝市を活用した新規魚種の市場開拓を検討・実施する。 広田湾漁業協同組合は、引き続き、市内流通・販路の拡大を検討・実施する。 大船渡市、陸前高田市及び岩手県は、引き続き、越喜来漁業協同組合の取組を支援するとともに、その取組を発信する。 委員会は、引き続き、上記の取組を地域間で共有し、未利用魚等の地域全体での認知度向上と活用に取り組む。 <p>3 生産力の向上に係る機能強化</p> <p>(1) 定置漁業の水揚維持・安定 委員会は、越喜来及び広田湾漁業協同組合等の水揚の維持・安定に向けた取組を共有し、関係漁業協同組合は、引き続き、漁具改良や急潮速報の活用策等を検討・実践する。</p> <p>(2) 既存養殖種の安定生産 岩手県は、生産者及び漁業協同組合と連携し、これまでの試験養殖の結果も踏まえ、水産業普及指導員が中心となって、引き続き、夏季海水温上昇など変化する養殖環境下での対策を検討・実施する。</p> <p>(3) 新規養殖種の導入 岩手県は、生産者及び漁業協同組合と連携し、養殖試験や販売試験の結果も踏まえ、引き続き、当地域に適するアサリ等の潜砂性二枚貝養殖の事業化について検討する。</p> <p>(4) サーモン養殖の推進 岩手県、陸前高田市及び大船渡市は、引き続き、関係漁業協同組合が取り組む養殖規模拡大を支援する。 岩手県、陸前高田市及び大船渡市は、管内漁業協同組合が所有するさけ・ますふ化場を使用したサーモン種苗の生産について、引き続き、その検討及び実行を支援する。</p> <p>(5) 秋サケ資源の維持 関係漁業協同組合は、引き続き、ふ化場のない河川においても親魚捕獲を実施するなど、連携して種卵確保に努め、拠点ふ化場及び地域ふ化場の連携体制により、大型稚魚の適期放流に取り組む。</p> <p>4 漁港施設に係る機能強化 広田湾漁業協同組合は、引き続き、根岬漁港の物揚場背後の舗装用地の適正な維持・管理により漁業活動の効率化に努める。</p> <p>【中核的担い手の育成の取組】</p> <p>1 新規就業者の確保</p> <p>(1) 大船渡市及び陸前高田市は、引き続き、育成協議会を通じた漁業就業支援フェア参加、知識や資格の習得に向けた研修会等の開催、住居確保等へ支援する。</p> <p>(2) 関係漁業協同組合は、育成協議会と連携し、引き続き、就業希望者と受入希望漁業者のマッチングを支援する。</p> <p>2 中核的担い手の育成</p> <p>(1) 委員会は、引き続き、所定の要件（人的要件、年齢基準、所得基準）を満たす中核的漁業者の認定と育成を進める。</p> <p>(2) 認定漁業者は、引き続き、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業等の活用により経営基盤の強化を図り、情勢の変化に対応できる強い漁業経営体となることを目指す。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> i 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ii 水産業競争力強化金融支援事業（国） iii 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）

<p>取組内容</p>	<p>【機能再編・地域活性化の取組】</p> <p>1 販売戦略に係る機能強化 大船渡市及び陸前高田市、岩手県は、引き続き、産地力向上協議会が整備した情報発信体制等を検証、必要に応じて強化し発信するとともに、 委員会は、産地力向上協議会と連携し、引き続き、話題性のある情報づくりを検討し発信する。</p> <p>2 付加価値の向上に係る機能強化</p> <p>(1) 衛生品質管理等の付加価値化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産者及び生産者団体は、魚市場を中心とした地域ぐるみの高度な衛生品質管理体制が維持されるよう、引き続き、定置網における漁獲物の品質保持、陸揚げ管理、乗組員の衛生管理など、生産段階での衛生品質管理を地域全体で徹底する。 ・ 大船渡市及び岩手県は、魚市場を中心とした地域ぐるみの高度な衛生品質管理の取組やスマート水産業実践地域であることを発信するため、引き続き、魚市場関連の情報に大船渡市魚市場HPや公式Xアドレスを付す。 <p>(2) 未利用低利用魚の活用促進による付加価値向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 越喜来漁業協同組合は、未利用低利用魚の道の駅等での販売の拡大に取り組む。 ・ 吉浜漁業協同組合は、朝市を活用した新規魚種の市場開拓に取り組む。 ・ 広田湾漁業協同組合は、引き続き、市内流通・販路の拡大に取り組む。 ・ 大船渡市、陸前高田市及び岩手県は、引き続き、上記の取組を支援するとともに、その取組を発信する。 ・ 委員会は、引き続き、上記の取組を地域間で共有し、未利用魚等の地域全体での認知度向上と活用に取り組む。 <p>3 生産力の向上に係る機能強化</p> <p>(1) 定置漁業の水揚維持・安定 委員会は、越喜来及び広田湾漁業協同組合等の水揚の維持・安定に向けた取組の成果を共有し、関係漁業協同組合は、漁具改良や急潮速報の活用策等を具体的に検討・実践する。</p> <p>(2) 既存養殖種の安定生産 岩手県は、生産者及び漁業協同組合と連携し、これまでの試験養殖の結果を踏まえ、水産業普及指導員が中心となって、検討した夏季海水温上昇など変化する養殖環境下での対策を総括し、普及を図る。</p> <p>(3) 新規養殖種の導入 岩手県は、生産者及び漁業協同組合と連携し、検討した当地域に適するアサリ等の潜砂性二枚貝について総括し、定着に向けた普及方法を検討する。</p> <p>(4) サーモン養殖の推進 岩手県、陸前高田市及び大船渡市は、関係漁業協同組合の安定生産を支援する。 岩手県、陸前高田市及び大船渡市は、管内漁業協同組合が所有するさけ・ますふ化場を使用したサーモン種苗の生産について、その持続化に向けた検討を支援する。</p> <p>(5) 秋サケ資源の維持 関係漁業協同組合は、引き続き、ふ化場のない河川においても親魚捕獲を実施するなど、連携して種卵確保に努め、拠点ふ化場及び地域ふ化場の連携体制により、大型稚魚の適期放流に取り組む。</p> <p>4 漁港施設に係る機能強化 広田湾漁業協同組合は、引き続き、根岬漁港の物揚場背後の舗装用地の適正な維持・管理により漁業活動の効率化に努める。</p> <p>【中核的担い手の育成の取組】</p> <p>1 新規就業者の確保</p> <p>(1) 大船渡市及び陸前高田市は、引き続き、育成協議会を通じた漁業就業支援フェア参加、知識や資格の習得に向けた研修会等の開催、住居確保等へ支援する。 (2) 関係漁業協同組合は、育成協議会と連携し、引き続き、就業希望者と受入希望漁業者のマッチングを支援する。</p> <p>2 中核的担い手の育成</p> <p>(1) 委員会は、引き続き、所定の要件（人的要件、年齢基準、所得基準）を満たす中核的漁業</p>
-------------	--

	<p>者の認定と育成を進める。</p> <p>(2) 認定漁業者は、引き続き、水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業等の活用により経営基盤の強化を図り、情勢の変化に対応できる強い漁業経営体となることを目指す。</p>
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> i 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（国） ii 水産業競争力強化金融支援事業（国） iii 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（国）

(5) 関係機関との連携

本プランに掲げる機能再編・地域活性化に関する基本方針及び中核的担い手の育成に関する基本方針に掲げる取組、資源管理に係る取組を着実に実施し、効果が最大限発揮できるよう国、岩手県水産関係団体、試験研究機関、地元高等学校及び大学等から指導協力を仰ぐこととする。

なお、担い手の確保育成の取組に当っては、岩手県漁業担い手育成基金、いわて水産アカデミー事務局とも連携して取り組むこととする。

(6) 他産業との連携

当地域商工事業者・団体、観光団体と連携し、イベント等を通じた地元普及、地元利用の促進、域外来場者等への訴求を通じて、前浜資源、新たな資源による産業及び地域の活性化を図る。

また、「産地の今を伝える情報」の商工事業者・団体、観光団体など水産関係以外の者・団体からの連携発信を通じて、地域ぐるみの産地情報の発信を検討する。

4 成果目標

(1) 成果目標の考え方

1 養殖業

サーモンは産地化、ワカメは生産量の増加を目指すことから生産量を成果目標とする。

(サーモン)

広田湾及び越喜来湾における新たな養殖種として、種苗生産体制の整備を含め産地化に取り組むことから、事業化後の生産計画の達成による生産量の増加を目指す。

(ワカメ)

異業種を含む新規参入の促進、法人組合員の規模拡大、貝類養殖との複合養殖への誘導、刈取時期の平準化などの取組により生産量の増加を目指す。

2 定置漁業

効率的な漁獲と急潮へ対応できるような漁具改良により、マイワシやサバ等の水揚量の増加を目指す。

3 新規漁業就業者数

漁業就業者フェアに積極的に参加し漁業就業希望者を確保し、「いわて水産アカデミー」を利用して地域漁業への定着を支援することにより新規就業者数の増加を目指す。

(2) 成果目標

① 機能再編・地域活性化の取組に係る成果目標

養殖業 ・サーモンの生産量の増加	基準年	令和6年度： 177 トン
	目標年	令和12年度： 2,500 トン
養殖業 ・ワカメの生産量の増加	基準年	令和2年度～令和6年度平均：4,688 トン
	目標年	令和12年度： 5,157 トン
定置漁業 ・マイワシ、サバの水揚量の増加	基準年	令和2年度～令和6年度平均：4,262 トン
	目標年	令和12年度： 4,688 トン

② 中核的担い手の育成の取組に係る成果目標

新規就業者数の増加	基準年	令和2年度～令和6年度累計：35人 (新規就業者数 7人/年)
	目標年	令和12年度累計：35人 (新規就業者数 7人/年)

(3) 上記の算出方法及びその妥当性

1 養殖業

(1) サーモンの生産量の増加

地域内のサーモン養殖は、令和7年10月区画漁業権を取得した広田湾漁業協同組合地区のみであることから、当該地区の生産計画2,500トン为目标とした。

岩手県、陸前高田市は、広田湾漁業協同組合管内で行われるサーモン養殖の規模拡大・安定生産を支援するとともに、広田湾漁業協同組合所有のさけ・ますふ化場を使用したサーモン種苗の生産について、その持続化に向けた検討を支援することとしていることから、本目標の達成は可能と判断する。

年度	基準年(R6)※	R8	R9	R10	R11	R12
計画(トン)	177	300	1,500	2,100	2,500	2,500

※令和6年度(試験期間中)の生産量。

(2) ワカメの生産量の増加

養殖ワカメは、秋季海水温の降温の遅れ等の影響を受け生産量が減少しているが、変化する養殖環境への技術的対策に地域全体で取り組むことや、新規参入の促進、法人組合員の規模拡大、貝類養殖との複合養殖への誘導、刈取時期の平準化などを地域全体で検討・実践することにより直近5ヶ年(R2-R6(基準年))平均値4,688トンから10%(毎年度2%)増加は可能で、対象地域全体の生産量目標5,157トンの設定は妥当と判断する。

年度	基準年(R2-6)	R8	R9	R10	R11	R12
増加率(%)	-	2	4	6	8	10
生産量(トン)	4,688	4,782	4,876	4,969	5,063	5,157

2 定置漁業

(1) マイワシ、サバの水揚量の増加

定置網におけるマイワシ・サバ水揚量の直近5ヶ年(R2-R6(基準年))平均値は4,262トンであるが、これは細目網の導入や急潮対策を講じる前の値であることから、地域全体で効率的な漁獲と急潮へ対応できるような漁具改良を進めることにより、マイワシやサバ等を効率的に漁獲することが可能となり、基準年4,262トンから10%(毎年度2%)増加は可能で、対象地域全体の水揚量目標4,688トンの設定は妥当と判断する。

年度	基準年(R2-6)	R8	R9	R10	R11	R12
増加率(%)	-	2	4	6	8	10
漁獲量(トン)	4,262	4,347	4,432	4,518	4,603	4,688

3 新規漁業就業者数の増加

対象地域全体の前期プラン中の新規就業者数は累計35人(令和2年:12人、令和3年度:8人、令和4年度:6人、令和5年度:7人、令和6年度:2人。年平均7人)となっている。新規就業者は減少傾向にあるものの、漁業就業者フェアに積極的に参加し漁業就業希望者を確保し、「いわて水産アカデミー」を利用して地域漁業への定着を支援することにより新規就業者数の確保を目指すことを通じて、新規就業者累計35人(毎年度7人)の増員を図る。

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生広域プランとの関係性
(1)競争力強化型機器等導入緊急対策事業(国)	○意欲ある漁業者が、コスト競争に耐えうる操業体制を確立するための漁業用機器等の導入を支援する。 ☆中核的担い手の育成(3(2)②)を推進する。
(2)水産業競争力強化金融支援事業(国)	○漁業者が、広域プランに基づき漁船の建造・取得・改修・漁業用機器等の導入を図る際の借入資金に対し支援する。 ☆中核的担い手の育成(3(2)②)を推進する。

(3)水産業競争力強化漁船導入 緊急支援事業（国）	○中核的漁業者として位置づけられた者が、競争力強化の取組を実践するために必要な漁船の導入に支援する。 ☆中核的担い手の育成（3(2)②）を推進する。
(4)水産業競争力強化漁港機能 増進事業（国）	○漁港利用者が、漁業活動の効率化と衛生的な作業環境を確保できるよう、陸前高田市が、漁港の物揚場背後の未舗装の用地の舗装を実施する。 ☆機能再編・地域活性化（3(1)②）を推進する。